

ほかほか言葉で心がほかほか

～「ひびきあいの日」の活動から～【優しさの姿】

岐阜県では、平成18年度から、各学校の実態や地域の実情を踏まえながら、人権教育における行動力の育成を主たる目的とする取組として「ひびきあいの日」を設け、人権問題に対する実践的態度の育成を図るとともに、人権感覚を高め、様々な人権課題の解決を目指しています。

梅原小学校でも、毎年12月の人権週間に合わせた「ひびきあいの日」の実施期間に、活動を位置付けています。今年度は「ほかほか言葉いっぱい梅原小学校にしよう」「ほかほかの気持ちを伝え合おう」をめあてにして「ひびきあいの日」を契機に自分を見つめ、行動を考え、お互いを大切にすることができることを目指しました。



【児童朝会 11月20日（木）】

児童朝会で、福祉・園芸委員会から「ほかほか言葉をつかおう」という提案がありました。また、プログラム委員会からは、「いつでも自分からやさしくハイタッチあいさつをしよう」のあいさつキャンペーンの提案もありました。

これらの提案を受けて、11月25日（月）からの二週間を「ひびきあい週間」とし、各学級では、やり切るためのめあてや方法を考え、活動をスタートしました。

【ひびきあい週間 11月25日（月）～11月29日（金）】

各学級で、「ほかほか言葉をつかおう」「やさしくハイタッチあいさつ」に取り組みました。

「ほかほか言葉をつかおう」では、福祉・園芸委員会が、この取組のために作成・準備した（去年から福祉のキャラクターになった）「ココロン」と「コロン」の絵を5等分したパズルのパーツを各学級に配りました。各学級では、毎日、自分たちで決めた目標（目指す姿）からその日の姿を振り返り、できていたら配られた「ココロン」と「コロン」のパーツを台紙に貼っていきました。各学級で決めた目標（目指す姿）から、毎日の姿を振り返ることで、「ほかほか言葉」を意識してつかおうとする児童の姿が増えてきました。



「やさしくハイタッチあいさつ」では、「朝・昼・帰りでハイタッチあいさつ」を意識して、毎日たくさんの仲間と先生とにあいさつをし、点検活動も行いました。点検結果をもとに一人一人のカードに色を塗りながら、成果をみんなで確かめ合いました。

【ひびきあい交流会（全校朝会） 12月8日（金）】

各学級から、「ひびきあい週間」に学級で取り組んだ「ほかほか言葉をつかおう」の結果が発表されました。



「一緒にあそぼう」「ありがとう」の「ほかほか言葉」や「自分から進んで相手のために行動できた」などの「ほかほか行動」により、嬉しい気持ちになったことがたくさん紹介されました。

この取組を今後も続けていきたいという言葉で締めくくった学級もあり、これからも継続して、温かい言葉を増やすことで、学級の仲間関係をよくし、梅原小学校によりいっそうほかほか言葉があふれるようになることを期待したいと思います。